

9月定例町議会

一般質問



永藤 貞亮 議員

◆山武地域医療センター建設

問①センター構想について

②東陽病院の現状は

③合併後の対応について

答①山武地域医療センターは、県立東金病院の老朽化や山武郡内の救急医療、小児医療の充実等の問題解決のため、県と郡内市町村の協議のもとに、東金病院、成東病院

及び大網病院の急性期医療を集約し、慢性期医療との機能分担をし、良質で効率的な医療提供体制の整備を図ることとしていきます。新たに建設される中央病院は、診療科23科、病床数450床の予定です。

②東陽病院は、診療科目10科で常勤医師9名、非常勤医師10名、病床数は100床です。

平成16年度の決算状況は、外来患者5万4406人・一日平均201.1人、入院患者2万7750人・一日平均76人で、収支状況は、赤字となっています。

③東陽病院の今後の運営は、野栄町が来年1月23日に八日市場市と合併し、組合から離脱すると、横芝町、光町の2町で運営することとなり、3月27日からは、新町「横芝光

町」の運営となります。山武地域医療センターとの関係は、現在、郡や県が定める医療圏の違いにより構想には、組み込まれていませんが、将来的には山武地域医療センターとの一体的な運営を目指すことを基本とし、今後のあり方についても検討、調整していくことが大きな課題と考えています。

◆介護保険制度の改正

問①介護者の実態について

②改正点と町の対応について

答①平成12年度の制度導入時から本年度までの高齢者人口等の推移は、高齢者人口が3226人から3657人、高齢化率は24.77%、要介護認定者数は、180人から458人と大幅な伸びとなり高齢者人口の伸び率以外は、全国平均を上回っている状況です。

②今回の改正は、介護予防に重点を置き、軽度認定者の要介護状態の軽減を目的とした新予防給付と、要介護状態になるおそれの高齢者を対象に予防メニューを実施する地域支援事業の二つの取り組みが新たに導入されることや施設給付の見直し等です。町では、

まず施設給付の見直しに伴い

入所施設の食費、居住費が保険対象外となりますので、低所得者で補給給付の対象となる方への周知から取り組んでいます。

◆障害者福祉と障害者年金

問①障害者の実態について

②障害者雇用について

答①障害者の区分として身体障害者(396人)、知的障害者(72人)、精神障害者の3種類に分けられていて、それぞれが身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法に基づいた福祉サービスが提供されています。

②町では、独自に雇用の斡旋はしていませんが、相談があればハローワークや県の自立職業訓練校の紹介をしています。

◆ゴミゼロ運動と

栗山川美化運動

問 現在、一部ボランティアグループで実施されているが町を挙げての運動にしてはどうか

答 合併新町建設基本方針で町の将来像として「栗山川がはぐくむ人・自然・文化が共生するまち」とし、その実現を目指してまちづくりを進めると定めています。現在、木戸

橋付近で実践されているボランティア運動を全川に広げるよう努力してまいります。また、ゴミゼロ運動は、年2回実施しています。

小川征四郎 議員

◆介護保険

問 ホテルコスト導入に伴う対応について

答 ホテルコストとは、施設で生活、療養を行う居住費、食費に係る費用のことで、今回の改正で保険給付の対象外となるのですが、低所得者の施設利用者が困難とならないよう、負担軽減措置として補足的給付が設けられていますので、利用者には、直接お知らせを郵送し、漏れのないよう対処してまいります。

◆合併問題

問①負担とサービスについて

②議員在任特例を中止し首長選挙と同時選挙に

答①合併は、厳しい財政状況の中、単独では困難なより一層の行政改革を進め、住民負担の増大や行政サービスの低下を招かないようにするために行うもので、光町との合併につきましても、この点を十